

新・教育の情報化 ～明治大学が取り組む 教育の情報化推進を紹介～

教育の情報化推進本部
本部長 水野勝之(商学部教授)

情報など)、授業で使用する資料の学生への事前配布、学生のレポートの提出など学生の勉強や学生生活などをサポートしてきた。

【情報教育】

明治大学の学部間共通で、全学生が受けられる情報科目は大変歴史がある。「コンピューター概論」としてスタートしその後「情報基礎論」「各種情報論」として発展してきた。年々変化する情報をとりまく環境を視野にいれつつ、的確な教育を学生に提供できるようカリキュラムを検討し授業を提供してきた。また、授業、自習を支援するアシスタント体制も充実している。基礎的情報科目には基本的に2名のアシスタントがサポートに入り、そして実習室・自習室にも経験豊富なアシスタントが常駐し、学生のレポート作成等の支援を行っている。各校舎には専門家が常駐するサポートデスクを設置し、学生や教職員のパソコンに関する相談を受け付けている。

【情報環境】

大学のメディア環境の検討・導入・運用の充実をはかっている。新しい規格のプレゼンテーション機器の導

入、新しいメディア環境の構築などを進めている。具体的には、各教室で学生や教員がプレゼンテーションできる設備を配置し授業や学会などで活用できるようにしている。また、学内に持ち込んだパソコンのインターネット環境の整備も進めており、各教室で持ち込みのパソコンが使える環境整備を行ったり、無線ラン環境を整備して学内で学生や教職員がインターネットを利用できる個所を増やしている。

アンテナの感度を上げ 双方向の授業へ

情報メディア部
和泉メディア支援事務長
和田 格

1 「双方向授業」

2010年、ハーバード大学マイケル・サンデル教授の授業を収録



クリッカー本体と画面表示の様子



水野勝之

したテレビ「ハーバード白熱教室」が放送され、大きな反響をよびました。1000人もの学生を前に、一方向ではない双方向の授業が展開されていました。2010年夏には東京大学でサンデル教授の特別講義が行われました。この様子もテレビで放映されました。ご覧になった方も多いと思います。

これだけ反響があったということでは、いかに大学の授業に対して「双方向の授業」が望まれているかを示すものだと思います。

大学の授業は一方的に事柄を教わるのではなく、与えられた課題について、自ら資料を集め、整理し、考察し、発表し、批評を受けることが期待されています。

このページでは、明治大学和泉キャンパスにおいて、学生の皆さんの感受性のアンテナの感度を上げ、双方向のやりとりのある授業を実現するために行われている新しい教育方法改善の取り組みについて紹介します。

2 クリッカー（教室内で即時アンケートが取れる）

クリッカーとは学生ひとりひとり

に配布したリモコンでアンケートを取るツールです。6択までの問いかけが可能です。クリッカーを活用することで、多人数の授業でも学生の前提知識、理解度、感想などを即時に収集し、プロジェクターに表示することがができるものです。教員は学生の理解度などを確認しながら授業を進めることができます。また、クリッカーをきっかけに活発な議論も期待されます。

2010年度より和泉キャンパスにこのクリッカーが180個配備され、様々な授業において活用されはじめました。また、9月のオープンキャンパスのガイダンスでも使用されました。読者の中にはオープンキャンパスで体験された方もいらっしゃるでしょう。また教員の研修会でも取り上げられ、授業での活用が推進されています。

3 新しいデバイスに触れる

2010年はApple社のiPadを始め、スマートフォン、電子書籍リーダーなど新しいデバイスが脚光を浴びた年でした。

和泉キャンパスでは、学生の皆さんにいち早く新しいデバイスに触れ

てもらいアンテナの感度を高めてもらうよう、iPadの展示、電子書籍リーダーの展示貸出し等を実施しました。

学生の皆さんの感想を参考に、今後の大学の設備整備を進めていきます。

4 ITタウンミーティング

和泉キャンパスでは学生の皆さんの率直な意見、要望、質問を聞く機会として「ITタウンミーティング」を2010年度より開催しています。教育の情報化推進本部の情報教育推進部長、和泉キャンパスでのメディア環境利用を支援する職員が学生の皆さんの声をダイレクトにお聞きしています。今年度も5月頃開催予定です。

この場でお出されたご意見は、明治大学のメディア環境整備、情報教育カリキュラムなどの検討に活用されています。

5 IT、メディアをとりまく環境整備

これらの他にも明治大学では、

・無線LANの整備
・サポーターデスクによるIT環境活用支援



和田 格



ITタウンミーティングの様子



メディア棟ラウンジでのiPad展示の様子

・マイクロソフト社との契約による割引ソフトウェア頒布(キャンペーン・アグリメント)

・Apple社との契約によるアップル製品の割引販売(アップルオンラインパス)

・レポート作成などに使用できるメディア自習室

・情報メディアに関する質問を受け付ける情報アシスタント

・映像資料を見るメディアライブラリ

・全学生へのメールアドレス配布
・授業のシラバス、レポート、大学からのお知らせなどをネット上でやりとりできるDocuMeiシステム

などが整備され、学生の皆さんが主体的に勉強を進めるための環境が整えられています。

このような環境の中でしっかりと授業準備を行い、双方向の授業に臨んでください。

和泉のメディアに関しては
<http://www.meiji.ac.jp/ws/ys>
 和泉メディアサービス
 ホームページでご確認ください。

動画の有効活用が開く次世代大学教育への扉

教育支援部
 ユビキタス教育推進事務局
 宮原俊之

まず、いきなり質問です!!

「テレビ以外で、明治大学に関する動画(映像)を5つ以上見たことがある人?」

今、手を挙げられた皆さん!素晴らしい!! 著者は、手を挙げられなかった人が普通だと思えます。でも、まさにこの瞬間も、明治大学は、変わるうとしています!

今回は、eラーニング(メディア授業)の実施、遠隔教育、デジタルコンテンツ制作・活用など、大学のユニバーサルアクセス化推進を実施しているユビキタス教育推進事務室の取り組みから2つ、皆さんにご紹介したいと思います。ユニバーサルアクセスとは、「誰もがいつでも自ら

の選択により適切に学べる機会が整備された高等教育」(文部科学省HPより)のことです。

今回、紹介する取り組みは、いずれも、明治大学の目指す「世界に開かれた大学」を意識していることで

まず、iTunes U(図1参照)です。

さて、iTunes Uとはなにか、皆さんご存知ですか? iTunes Uとは、MacやWindowsのパソコン、スマートフォン、iPad等のモバイル端末で利用(視聴)可能です。iTunes Uは、そのiTunesの大学専用のチャンネルのことです。iTunes Uは「University」の「U」ですね。すでに、世界中で800以上の大学がiTunes Uに参加しており、昨年、iTunes Uからダウンロードされた数が、開設からちょうど3年を超えて3億件を突破したと話題になりました。今、iTunes Uは、世界で大変注目されているサービスです。さらに、社会貢献の一環としての意味合いが強く、世界中の人々に、世界



宮原俊之



図1 iTunes U TOP



図2 明治大学 iTunes U



各国の一流大学の授業を学ぶ機会を持っていただくことが目的ですので、配信コンテンツはすべて無料です。しかも、iTunes Uには希望した大学が簡単に参加できるということではなく、アップル社が行う、配信コンテンツの教育的な質、サービス開始後の継続的な運営などについての審査に合格する必要があります。日本では、2010年8月25日に、明治大学と東京大学、慶應大学、早稲田大学の4大学が初めて認められました。明治大学では、図2のとおり、通常の講義に加えて、著名な方の講演会やシンポジウム、スポーツなどの学生生活にまつわること(学生制作のコンテンツもアップしています)、大学案内のほか、iTunes Uオリジナル企画として「卒業生の足跡」など、300を超えるコンテン

ツを公開しています。すでに、今まで明治大学に関心を持っていなかった世界中の人からのアクセスが現実のものとなつているほか、学生の皆さんにとつても、新しい教育方法の一つとして活用されています。

次に、ご紹介するのが「eプレゼン・コンテスト」です！記念すべき第1回は、2011年度に明治大学創立130周年記念の企画として開催されます(なんと上位副賞は、韓国の大学への訪問です！)。これは、「学生主導型コンテンツ制作」の一環です。学生主導型コンテンツ制作は、学生の皆さんにデジタルコンテンツ制作をおして、デザイン力やプレゼンテーション能力の向上を図っていただくことを大きな狙いとしています。ですので、決して映像処理などの技術力が必要ありません。たとえば、図3は、先日、協定校の韓国・嶺南大学の学生が来日された明治大学の学生と一緒に制作したコンテンツの1コマです。全く知識がなくても、1日でこのようなコンテンツの制作を行うことが可能です。大学として、学生主導型コンテンツ制作を実現できるシステムの

導入を行い(図4参照)、定期的なトレーニングや説明会を実施するなどサポート体制を強化しています。そして、皆さんが、新しい情報技術を活用して、新しい教育方法で学習し、一層の学習効果ができるよう、支援し続けていきます。また、図5のように部活動、サークル活動、ゼミなどでの利用もWelcome!!是非、このような機会を有効に活用し、新しい自分の能力の開拓などをしてみましょう。きつとここで鍛えたデザイン力やプレゼンテーション力は、就職活動にも社会に出たあとにも役立ちます！

明治大学は、ICT活用の分野でも進化し続けます！

【関係リンク】

- ★明治大学 iTunes U
<http://www.meiji.ac.jp/ubiq/itunesu/index.html>
- ★明治大学 iTunes U Twitter (更新情報をお伝えしています)
<http://twitter.com/itunesumeiji>
- ★明治大学ユビキタス教育
<http://www.meiji.ac.jp/ubiq/>
- ★eプレゼン・コンテスト(明治大学創立130周年記念企画)
http://www.meiji130.jp/project/section/commemoration#e_pre



図5 自転車部の動画ニュース



図4 学生主導型コンテンツ制作システム



図3 学生制作コンテンツ一例